

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.7
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50			
1.2.1 開口部遮音性能	Dr-50を確保する計画とした	3.0	1.00	3.0	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	-	4.0	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.3	1.00			3.3
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.7	0.50			
2.1.1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能	住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得予定 460.00MJ以下	3.0	0.38	5.0	0.38			
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		2.8	0.25	4.2	1.00			4.0
3.1 昼光利用		5.0	0.30	4.4	0.50			
3.1.1 昼光率	ハイサッシによる昼光率の向上	5.0	0.60	5.0	0.50			
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3.1.3 昼光利用設備	ハイサッシ・玄関窓の採用により明るい住空間を計画した	5.0	0.40	5.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.50			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御	バルコニー・開放廊下底に加え、各住戸にカーテンルを設置	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.2.3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		1.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-			
4 空気環境		4.4	0.25	4.2	1.00			4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63			
4.1.1 化学汚染物質	F・VOCの放出が極めて少ない部材を採用	5.0	1.00	5.0	1.00			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.5	0.40	3.0	0.38			
4.2.1 換気量	建築基準法・建築物衛生法必要換気量の1.2倍を確保する計画とした	4.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		4.3	0.40	3.8	1.00			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60			
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応	100Mbitの通信環境を整備する計画とした	3.0	-	4.0	1.00			
1.1.3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動円滑化基準を満たす設計とした	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	3.5	0.40			
1.2.1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
1.2.3 内装計画	コンセプト・ベース等の検討により内装計画を行った	5.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計	キッズコーナー・トイレに防汚コーティング剤採用、共用部段差5mm以下	4.0	0.50	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保	清掃用具保管スペース、清掃用SKの設置、ゴミ搬出スペースの確保	4.0	0.50	-	-			
1.3.3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 構造躯体劣化対策等級3を取得予定	5.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼40年、一部合成樹脂吹付(アクリルソリ)(モルタル下地)30年	4.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主要内装材の更新必要間隔16~25年を確保	4.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ダクト内水勾配確保による内部結露水の溜りを防止	4.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	汚水管及び雑排水管に鉄製管を採用	5.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具、災害時井戸水ろ過システムによる飲料水の確保を計画	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	排水用ポンプを設置	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.1	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	高耐久ステンレス給水システム、更新対応排水管システムの採用	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出		ハードハウス・ハードハスの設置	3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		視点場からの建物景観調査を実施	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	住民参加イベントを計画、パブリックスペースにスツールを設置	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.7
1 建物の熱負荷抑制		日本住宅性能表示基準 省エネ対策等級4を取得予定	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	ハイサッシ窓・玄関窓の採用による住戸内の採光の確保を計画	5.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		潜熱回収型給湯器の採用、共用部照明にLEDの採用	4.9	0.40	-	-	4.9
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	4.9		-	-	
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器およびキッチン、UBに節湯器具を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.2	0.63	-	-	4.2
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	躯体杭基礎に高炉セメントを採用	5.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	段裸、長尺シート、タイルにリサイクル材使用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内壁二重壁工法より躯体と仕上分別可能。さや管ハグド工法採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質を含有しないタイル用接着剤及び壁紙用接着剤使用	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		省エネ等級4を取得予定。潜熱回収型給湯器エコジョーズの採用。	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場100%、駐輪場200%を確保。敷地内に管理車両スペース確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ディスプレイの設置。ゴミの分別回収容器の設置。	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	深夜はタイマーにより減灯とし、過剰な明るさとならないよう計画。	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	